

Title	長與專齋宛書翰
Sub Title	
Author	富田, 正文(Tomita, Masafumi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1950
Jtitle	史学 Vol.24, No.2/3 (1950. 10) ,p.177(309)- 177(309)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白錄 福澤諭吉五十年忌記念
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19501000-0177

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

の成立について、根本的な精緻な研究業績を挙げさせるに至つたものであつて、福澤が神田孝平の寫本發見の功績を高く讃える以上に、我々は福澤の初版刊行の篤志を深く感謝するものである。福澤の刊行せしめた初版本の系統を引く流布本を批判し、別に各種の異本を比較校合して新たな決定版を作り上げることは、福澤の志を全うする所以であると私は信ずる。

附記 拙稿を草するに當つて、私は内山孝一博士校訂解説「和蘭事始」（昭和二十三年十二月、中央公論社刊）に負ふところが甚だ多い。茲に記して深く感謝の意を表する。

長與專齋宛書翰

今朝も又々御使、實に恐縮不堪、彼の蘭學事始の一條、苟も出版とあれば念を入れ度、依て今朝神田孝平方へ參り、其柳餘白が出來たから、本文中に引用した福澤の手紙の全文を、茲に掲載しておく。明治二十三年日本醫學會で「蘭學事始」の再版を企てたとき、會長長與專齋からその序文を求められたので、これに答へた二通の書翰である。

（句讀點は筆者がつけたものである。）

其一

昨日御手紙被下、未御返詞不仕中に、訪ひ、事實相分り候に付、唯今別紙認さ

今朝も又々御使、實に恐縮不堪、彼の蘭學事始の一條、苟も出版とあれば念を入れ度、依て今朝神田孝平方へ參り、其柳餘白が出來たから、本文中に引用した福澤の手紙の全文を、茲に掲載しておく。明治二十三年日本醫學會で「蘭學事始」の再版を企てたとき、會長長與專齋からその序文を求められたので、これに答へた二通の書翰である。

一日

諭吉

長與先生侍史

二十三年四月一日 諭吉

長與先生侍史

二十三年四月一日 諭吉

尙以從前の版本に、豊前中津奥平昌庶公とあるは、昌鹿の誤りに御座候。是れも乍序申上候。以上。

其二

蘭學事始の事に付、今日神田孝平氏を

（富田正文記）